

社会資本総合整備計画（水の安心・安全基盤整備） 事後評価書（中間評価書）

平成27年3月31日

計画の名称	全県下水道化計画（防災・安全）										
計画の期間	平成22年度～平成25年度（4年間）				交付対象	富山県、富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、上市町、入善町、朝日町、中新川広域行政事務組合					
計画の目標	①集中豪雨や都市化の進展に伴う浸水リスクの増大に対し総合的な浸水対策を実施する。										
計画の成果目標（定量的指標）	①平成10年度から平成21年度に都市浸水被害があった箇所、下水道による対策が必要な箇所の整備率が49%(H21年度末)から51%(H25年度末)に増加させる。 ②長寿命化計画の策定に着手した団体を7%(H21年度末)から79%(H25年度末)に増加させる。										
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値		備考
① ①重要都市浸水対策整備率（％） ＝（概ね5年に1回の確率で発生する降雨を対象に対策を整備済みの面積） ／（H10年度からH21年度の間床下浸水以上の被害があった排水区で下水道による対策が必要とされる面積 ＋ 新幹線開発等による都市化の進展により床下浸水以上の被害が起こりうる可能性がある区域の面積）	当初現況値 （H22当初）		最終目標値 （H25末）								
	49%		51%								
	② ②長寿命化計画策定率 ＝（長寿命化計画を策定した団体数）／（全団体数（14団体））		7%		79%						
全体事業費	合計 （A+B+C）	18,681 百万円	A	18,496 百万円	B	0 百万円	C	185 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C）	1.0%	
事後評価（中間評価）											
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期											
事後評価（中間評価）の実施体制					事後評価（中間評価）の実施時期						
富山県土木部都市計画課					平成27年3月						
					公表の方法						
					富山県ホームページ						
1. 交付対象事業の進捗状況											
交付対象事業											
A 下水道事業										合計	18,496
C 効果促進事業										合計	185
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況											
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			・総合的な浸水対策が実施されたことで、集中豪雨や都市化の進展に伴う浸水リスクが軽減した。 ・下水道施設の計画的な改築を行うための長寿命化計画が策定されたことで、ライフサイクルコストの最小化が図られた。								
II 定量的指標の達成状況		指標①（重要都市浸水対策整備率）	最終目標値	51%	目標値と実績値に差が出た要因						
			最終実績値	51%							
		指標②（長寿命化計画策定率）	最終目標値	79%	目標値と実績値に差が出た要因						
			最終実績値	79%							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）											
3. 特記事項（今後の方針等）											
過去の浸水実績等を踏まえ、優先順位をつけて、引き続き計画的・効率的に浸水対策を進める。 策定した長寿命化計画に基づき、計画的・効率的に下水道施設の改築・更新を進める。											

